

試験研究発表題名

平成20年度 試験研究発表題名一覧

1. Tomoyuki Fujii (藤井智之), Hisashi Abe (安部久) and Ken Ogata. Practice of wood identification of Southeast-Asian timbers for pallets. Proceedings of the International Symposium on Wood Science and Technology 2008 (IAWPS2008 Harbin, China September 27-29, 2008) : 33-34. 2008.09
2. 吉田和正, 安部久, 津村義彦, 藤井智之. 乾燥されたレッドメランティ(*Shorea*属*Rubroshorea*節)材の樹種識別. ポスター発表, 日本木材学会大会, 58 (2009年3月15~17日, 松本). 2009.03
3. Mariko Inoue (井上真理子), Yasuhiko Oishi (大石康彦), Tomoyuki Fujii (藤井智之). Development of wood learning programs for environmental education (環境教育としての木材学習プログラムの開発). 森林計画学会 2008年度夏季台日合同国際シンポジウム (2008年8月26~30日山形大学), ポスター発表 (2008). 2008.08
4. Mariko Inoue (井上真理子), Yasuhiko Oishi (大石康彦), Tomoyuki Fujii (藤井智之), Hiroyuki Kobayashi. Forestry education support by a forest research institute: Development of forestry educational programs for vocational high schools. IUFRO Working Parties 4.01, 4.02, 4.04, International Conference, "Advances in Forest Management and Inventory" at Kangwon National University, Chuncheon, Gangwon Province, Korea, October 13-17, 2008, ポスター発表 (2008). 2008.10
5. Peter Kitin, Tomoyuki Fujii (藤井智之), Hisashi Abe (安部久) and Katsuhiko Takata. Anatomical features that facilitate radial flow across growth rings and from xylem to cambium in *Cryptomeria japonica*. Annals of Botany, doi:10.1093/aob/mcp050. 2009.03
6. 香川聡, 安部久, 藤井智之, 伊藤優子. 安定同位体比による木材の産地識別. ポスター発表PA016, 日本木材学会大会, 58 (2009年3月15~17日, 松本). 2009.03
7. 吉村研介, 田中孝尚, 鈴木三男 (東北大学), 神保宇嗣, 伊藤元己 (東京大学) 永居寿子, 舘田英典 (九州大学), 津村義彦, 藤井智之, 能城修一, 河原孝行, 吉丸博志. 日本産樹木DNAバーコーディング - 2008年度進捗状況 - . 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pb1-31. 2009.03
8. Tsuyoshi Kobayashi (北海道大学), Fumio Yamada (山田文雄), Takuma Hashimoto ((財) 自然環境研究センター), Shintaro Abe (阿部慎太郎)(環境省), Yoichi Matsuda (松田洋一)(北海道大学) & Asato Kuroiwa (黒岩麻里)(北海道大学). Centromere repositioning in the X chromosome of XO/XO mammals, Ryukyu spiny rat. Chromosome
9. 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 七里浩志 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 小高信彦, 斉藤和彦, 黒岩麻里 (北海道大学). オキナワトゲネズミ *Tokudai muenninki* の捕獲による生息再確認. 沖縄生物学会大会プログラム講演要旨集, 45 : 11. 2008.05
10. 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 山田文雄, 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 村山望 (アージ研究会), 久高奈津子 (アージ研究会), 小松知普 (アージ研究会). 沖縄島北部におけるオキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* とクマネズミ *Rattus rattus* の生息状況. 沖縄生物学会大会プログラム講演要旨集, 45 : 14. 2008.05

11. 黒岩麻里(北海道大学), 村田知慧(北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩(島嶼生物研究所), 三宅雄士(環境省), 福地壮太(環境省), 七里浩志(環境省), 阿部慎太郎(環境省), 松田洋一(北海道大学). オキナワトゲネズミ(Tokudaia muenninki)における分子細胞遺伝学的解析. 沖縄生物学会大会プログラム講演要旨集, 45: 14. 2008.05
12. 長野義春(越前市エコビレッジ交流センター), 草刈秀紀(WWFジャパン), 山田文雄, 竹村真由子(WWFジャパン), 五箇公一((独)国立環境研究所). 外来生物の和名が住民意識に与える影響. 環境教育学会講演要旨集: . 2008.08
13. 山田文雄, 河内紀浩(島嶼生物研究所), 三宅雄士(環境省), 福地壮太(環境省), 七里浩志(環境省), 阿部慎太郎(環境省), 小高信彦, 黒岩麻里(北海道大学). 沖縄島で捕獲により再発見された絶滅危惧種オキナワトゲネズミTokudaia muenninki. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 87. 2008.09
14. 山田文雄, 鈴木仁(北海道大学). オキナワトゲネズミ再発見 ―トゲネズミ研究の最近. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 70. 2008.09
15. 池田透(北海道大学), 山田文雄, 小倉剛(琉球大学). 外来哺乳類対策の最前線. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 75. 2008.09
16. 布目三夫(北海道大学), 鳥居晴己(奈良教育大学), 山田文雄, 土屋公幸(応用生物), 鈴木仁(北海道大学). 第四紀の複数のレフュージアがニホンノウサギの遺伝的多様性に与えた影響についての系統地理学的解析. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 128. 2008.09
17. Kusakari, H. (草刈秀紀)(WWFジャパン), F. Yamada (山田文雄), K. Goka (五箇公一)((独)国立環境研究所) and M. Takemura (竹村真由子)(WWFジャパン). Enlightenment teaching material of IAS problem and practice report of model class in the Okinawa and Amami Islands. Abstracts of CSIAM, International Symposium of Control Strategy of Invasive Alien Mammals, 2008: 43. 2008.10
18. Watari, Y. (亘悠哉), S. Abe (阿部慎太郎)(環境省), F. Yamada (山田文雄), and T. Miyashita (東京大学). Pulsed bird migration affects the breeding seasonality and population growth rate of an invasive predator: imprecations for management. Abstracts of CSIAM, International Symposium of Control Strategy of Invasive Alien Mammals, 2008: 63. 2008.10
19. Yamada, F. (山田文雄), Y. Watari (亘悠哉), S. Abe (阿部慎太郎)(環境省), S. Kubo (鹿児島国際大学), S. Nagumo (鹿児島国際大学), K. Funakoshi (鹿児島国際大学) and K. Ishida (石田健)(東京大学). Monitoring of mongoose and Amami rabbit by auto cameras during mongoose control programs. Abstracts of CSIAM, International Symposium of Control Strategy of Invasive Alien Mammals, 2008: 87. 2008.10
20. Yamada, F. (山田文雄), K. Sugimura (杉村乾), J. Nagata (永田純子), S. Kobayashi (京都大学), N. Ohnishi (大西尚樹), T. Sakoda (環境省), Y. Nagai (環境省), M. Tatara (環境省) and S. Abe (阿部慎太郎)(環境省). Monitoring and population analysis of Amami rabbit *Pentalagus furnessi* based on pellet counting census and DNA extracted from pellets. Abstract Book of 3rd World Lagomorph Conf: 46. 2008.11

21. Yamada, F. (山田文雄). Activity and adaptation of Amami rabbit *Pentalagus furnessi* inhabit in damp subtropical temperature. Abstract Book of 3rd World Lagomorph Conf : 138. 2008.11
22. Chie MURATA (北海道大学), Fumio YAMADA (山田文雄), Norihiro KAWAUCHI (河内紀浩)(島嶼生物研究所), Yuji MIYAKE (三宅雄士)(環境省), Sota FUKUCHI (福地壮太)(環境省), Hiroshi SHICHIRI (七里浩志)(環境省), Shintaro ABE (阿部慎太郎)(環境省), Nobuhiko KOTAKA (小高信彦), Yoichi MATSUDA (松田洋一)(北海道大学), Asato KUROIWA (黒岩麻里)(北海道大学). Molecular cytogenetic approach to a Y-loss event in Ryukyu spiny rat (genus *Tokudaia*, Muridae, Rodentia). Abstracts of The 3rd Asian Chromosome Colloquim, 2008 : . 2008.12
23. 黒岩麻里 (北海道大学), 石口泰子 (北海道大学), 山田文雄, 阿部慎太郎 (環境省), 松田洋一 (北海道大学). XO型トゲネズミにおけるY染色体の消失. 分子生物学会講演要旨 : . 2008.12
24. 村田知慧 (北海道大学), 山田文雄, 河内紀浩 (島嶼生物研究所), 三宅雄士 (環境省), 福地壮太 (環境省), 七里浩志 (環境省), 阿部慎太郎 (環境省), 小高信彦, 松田洋一 (北海道大学), 黒岩麻里 (北海道大学). トゲネズミ3種の分子系統解析と核型比較. 分子生物学会講演要旨 : . 2008.12
25. 山田文雄. 奄美の固有生物の現状と外来種対策の国際ネットワーク構築. 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 179. 2009.03
26. 山田文雄. シリーズ森とけもの(13)孤島の出来事. 山林2008年5月号:52-55. 2008.05
27. 山田文雄. 生物多様性を阻害する外来生物. 私たちの自然, 539 : 11-13. 2008.08
28. 山田文雄, 池田透 (北海道大学), 小倉剛 (琉球大学). 国際会議「侵略的外来哺乳類の防除戦略 - 生物多様性の保全をめざして - 」の開催迫る. 森林技術, 799 : 28-29. 2008.10
29. 山田文雄. これがお宝 - 特別天然記念物アマミノクロウサギの剥製標本と骨格標本 -. 季刊森林総研, 3 : 17. 2008.11
30. Kuroda, K. (黒田慶子). Chap. VI: The tree: physiology, resistance and histopathology as a result of pine wilt disease. VI3: Defense Systems of *Pinus densiflora* Cultivars Selected as Resistant to Pine Wilt Disease. . Pine Wilt Disease: A Worldwide Threat to Forest Ecosystems (Vieira & Mota Eds), Springer, 313-320. 2008.08
31. Kuroda, K. (黒田慶子). Chap. 20 and 21 Physiological Incidences Related to Symptom Development and Wilting Mechanism. . Pine Wilt Disease (Zhao et al. eds), Springer : 302-322. 2008.09
32. 黒田慶子, 大平峰子. マツ材線虫病抵抗性クロマツの実生苗におけるマツノザイセンチュウの挙動. 森林総合研究所関西支所年報, 49 : 43. 2008.12
33. 黒田慶子. マツ類組織における線虫活動阻害と抵抗性の発現. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : . 2009.03

34. 黒田慶子, 伊東宏樹, 大住克博, 奥敬一, 衣浦晴生, 高畑義啓, 松本和馬. 里山に入る前に考えること - 行政およびボランティア等による整備活動のために - (小冊子).(森林総合研究所関西支所): 37pp. 2009.03
35. 黒田慶子. 森林資源を上手に循環させて里山を保全する. 森林総合研究所関西支所研究情報, 91: 1. 2009.02
36. 黒田慶子, 奥敬一. 森林研究と自然学習とのコラボレーション - コンセプトと活動事例 - (小冊子).(森林総合研究所関西支所関西支所発行): 17pp. 2009.01
37. 黒田慶子. 里山の健康低下 - ナラ枯れから見えてきたこと - . 公開シンポジウム「これからの里山の保全と活用 - 里山を健康に保つために何をすべきか - 」要旨: . 2008.10
38. 黒田慶子. 樹木の組織・構造と水分通道. グリーンエージ, 417: 36-39. 2008.09
39. 山本伸幸. 地域主義とコモンズ論の位相. 井上真編著『コモンズ論の挑戦: 新たな自然資源管理を求めて』(新曜社): 32-44. 2008.11
40. 林雅秀, 山本伸幸. 林業経営統計調査からみた世帯、支出、および所得. 林業経済学会秋季大会講演要旨自由論題: A8. 2008.11
41. 堀靖人, 立花敏, 駒木貴彰, 平野悠一郎, 天野智将, 山本伸幸, 村田光司, 塔村真一郎, 山根正伸(神奈川県自然環境保全センター), 呉鉄雄(北京林業大学), 陸文明(中国林業科学研究院). 中国木材産業の動向 - 大連における構造用集成材生産の事例 - . 日本森林学会大会学術講演集, 120: C39. 2009.03
42. 山本伸幸. 長期経済統計9 農林業. 木材情報, 208: 30. 2008.09
43. 山本伸幸. フィンランド林業統計年鑑. 木材情報, 205: 30. 2008.06
44. 山本伸幸. フィンランドの林産物輸送. 木材情報, 207: 1-4. 2008.08
45. 山本伸幸. 統計法改正. 木材情報, 204: 22. 2008.05
46. 山本伸幸, 林雅秀, 田中巨. 2005年農林業センサス「農林業経営体」概念の予備的検討. 日本森林学会大会学術講演集, 120: C08. 2009.03
47. 細田育広. 古生層堆積岩流域斜面における基盤岩地下水位変動の実測. 2008年度水文・水資源学会研究発表会要旨集: 172-173. 2008.08
48. 村上茂樹, 細田育広. ヒノキ幼齢林と壮齢林における樹幹流の経年変化 - 幼齢林での急激な減少と回復 - . 2008年度水文・水資源学会研究発表会要旨集: 250-251. 2008.08
49. 玉井幸治, 清水晃, 細田育広, 宮縁育夫, 清水貴範, 深山貴文, 小南裕志, 浅野志穂. 様々な森林攪乱が流況曲線に及ぼす影響 - 宮崎市「去川森林理水試験地」と岡山市「竜ノ口山森林理水試験地」の事例比較 - . 森林総合研究所研究報告, 408: 111-120. 2008.09

50. I. Hosoda (細田育広). Soil Moisture, Ground Water, and Streamflow Response to Rainfall In a Slope and Watershed Underlain by Paleozoic Sedimentary Rocks (古生層堆積岩を基岩とする斜面と流域における土壌水分、地下水および渓流水の降雨に対する応答). Joint meeting of GSA, ASA-CSSA-SSSA, and GCAGS Abstracts CD-ROM (米国地質学会ほか合同研究集会要旨集CD-ROM) : 79-12. 2008.10
51. 細田育広. 竜ノ口山の森林理水試験 - 70年間の記録から -. 森林総合研究所関西支所年報, 49 : 63. 2008.12
52. 細田育広, 村上 亘, 野口正二. 釜淵森林理水試験地観測報告 - 1・2・3号沢試験流域 - (2001年1月~2005年12月). 森林総合研究所研究報告, 8(1) : 51-70. 2009.03
53. 細田育広, 小南裕志, 深山貴文, 坪山良夫, 松浦純生. 2008-2009年冬季における竜ノ口山森林理水試験地の降雨・流出概況. 平成20年度竜ノ口山国有林における山地森林水保全機能調査報告書 : 67. 2009.03
54. 細田育広. 空中写真を用いた平均樹高分布の推定 - 竜ノ口山森林理水試験地を例として -. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pa1-29. 2009.03
55. Teruaki Hino (日野輝明). Mixed-species flocks of birds in Madagascar (マダガスカルにおける鳥の混群). Ornithological Science, 8 : 43-53. 2009.03
56. Hiroki Ito (伊東宏樹), Teruaki Hino (日野輝明). Effects of deer and mice on seedling survival in a temperate mixed forest of Japan (温帯混交林における実生生存へのシカとネズミの影響). Forest Ecology and Management, 256 : 129-135. 2008.07
57. Chan-Ryul Park (韓国林業研究院), Teruaki Hino (日野輝明), Hiroki Ito (伊東宏樹). Prey availability determined by foliage structure and selection of prey size by canopy dwelling birds between two oak species (ナラ類2種における樹冠の構造で異なる利用可能な餌量と鳥による餌サイズの選択). Ecological Research 23 : 1015-1023. 2008.11
58. 寺井裕美 (京都大学), 柴田昌三 (京都大学), 日野輝明. 草食性哺乳類がミヤコザサの地上部と地下部に与える影響 - 採食排除後4年目の調査から -. 日本緑化工学会誌, 34 : 516-523. 2008.12
59. 上田明良, 田淵研 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター), 日野輝明. シカの採食がササにゴールを形成するタマバエとその寄生蜂2種に与える間接効果. 日本森林学会誌90: 335-341. 2008.10
60. Teruaki Hino (日野輝明). Forest ecosystem management based on interaction network in Odaigahara, Japan (大台ヶ原における生物間相互作用ネットワークに基づく森林生態系管理). 韓国鳥類学会2008年度大会講演要旨 : 1. 2008.11
61. 日野輝明. 大台ヶ原の森林生態系管理. 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 103. 2009.03
62. 古澤仁美, 日野輝明, 高橋裕史, 金子真司. 大台ヶ原においてニホンジカの採食は土壌からの窒素流亡を増やす. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pa2-04. 2009.03

63. 伊東宏樹, 日野輝明, 岩本宏二郎, 島田和則, 勝木俊雄. 兵庫県猪名川町の萌芽林および放置林の林床植生. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc3-10. 2009.03
64. 上田明良, 田淵研 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター), 日野輝明. 大規模防鹿柵内におけるミヤコザサフシコブタマバエ寄生蜂2種の寄生率変化. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨53: . 2009.03
65. 松本和馬, 斉藤三郎 (名城大学), 日野輝明, 阿部晃久 (名城大学), 新妻靖章 (名城大学). 薪炭林施業が行われている里山林のゴミムシ類群集. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨, 53: . 2009.03
66. 西中康明 (環境設計 (株)), 松本和馬, 日野輝明, 石井実 (大阪府立大学). 北摂地方における人為的攪乱とチョウ類の群集構造および種多様性との関係. 日本環境動物昆虫学会大会講演要旨, 20: . 2008.11
67. 石田朗 (愛知県森林・林業技術センター), 日野輝明, 亀田佳代子 (滋賀県立琵琶湖博物館). カワウ被害軽減のためのコロニー・ねぐら管理手法の検討. 平成20年度日本水産学会中部支部大会講演要旨. 2008.11
68. 日野輝明. 薪炭林管理、生物多様性、子供の楽しみ. 森林総合研究所関西支所研究情報, 88: 1. 2008.05
69. 伊東宏樹, 日野輝明, 高橋裕史. シカと林床植生が樹木実生の生存に及ぼす効果. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 330. 2009.03
70. 日野輝明, 伊東宏樹, 高橋裕史. シカおよびササとの相互作用が作り出す森林の種多様性. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 167. 2009.03
71. 古澤仁美, 日野輝明, 高橋裕史, 金子真司. 大台ヶ原においてニホンジカの採食は土壌からの窒素流亡を増やす. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pa2-04. 2009.03
72. Masaki, T. (正木隆), Oka, T. (岡輝樹), Osumi, K. (大住克博) and Suzuki, W. (鈴木和次郎). Geographical variation in climatic causes for mast seeding of *Fagus crenata* (ブナの豊作に関する気象要因の地理的変異). *Population Ecology*, 50: 357-366. 2008.10
73. Osumi, Katsuhiko (大住克博). Growth characteristics explain predominance of *Fagus crenata* in Japanese cool-temperate forests (ブナの冷温帯林における優占を成長特性より説明する). *Proceedings of the 8th IUFRO Beech Symposium*: 62-63. 2008.09
74. 大住克博. 里山林における人と自然の共存. 日本森林学会公開シンポジウム「これからの里山 - 生物と文化の多様性を見つめて - 」要旨: 12-13. 2009.03
75. 大住克博. 雑木林はいかにして雑木林となったのか. 森林技術(森林技術協会), 796: 34-38. 2008.07
76. 大住克博. 里山林の健康を回復させるには - 新しい施業技術の提案 - . 公開シンポジウム「これからの里山の保全と活用 - 里山を健康に保つために何をすべきか - 」要旨: . 2008.10

77. 伊東宏樹, 大住克博, 衣浦晴生, 高畑義啓, 黒田慶子. 滋賀県朽木のナラ類集団枯損被害林分の林分構造. 森林総合研究所研究報告, 7(3): 121-124. 2008.08
78. 大住克博, 奥敬一, 黒田慶子. 里山林整備を進めるために. 里山に入る前に考えること - 行政およびボランティア等による整備活動のために - (森林総合研究所関西支所): 33-37. 2009.03
79. 大原偉樹, 金子智紀, 和田覚, 北田正憲, 斉藤武史, 平井敬三, 杉田久志, 八木橋勉. スギ人工林における間伐前後の高木性広葉樹の侵入状況と下層植生の繁茂量. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 76. 2008.10
80. 大原偉樹, 金子智紀, 和田覚, 北田正憲, 斉藤武史, 平井敬三, 杉田久志, 八木橋勉. スギ人工林における高木性広葉樹の侵入状況と下層植生の繁茂量 - 強度間伐2年目の事例 -. 日本森林学会大会学術講演集, 120: A26. 2009.03
81. 齋藤武史, 大原偉樹, 金子智紀, 和田覚. スギ人工林の間伐前後における樹冠関連要素の変化 - 全天空写真画像を用いた解析 -. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F13. 2009.03
82. Ishida Atsushi (石田厚), Nakano Takashi (中野隆志)(山梨県環境科学研究所), Yazaki Kenichi (矢崎健一), Matsuki Sawako (松木佐和子)(岩手大学), Koike Nobuya (小池信哉), Lauenstein L. Diego (アルゼンチン国立農業研究所), Shimizu Michiru (清水満智留), Yamashita Naoko (山下直子). Coordination between leaf and stem traits related to leaf carbon gain and hydraulics across 32 drought-tolerant angiosperms.(乾燥耐性植物32種における光合成と水分生理に関する葉と茎の特性の相互関係). *Oecologia*, 156(1): 193-202. 2008.05
83. 石田厚, 矢崎健一, 大曾根陽子, 山下直子. 小笠原外来樹種の生理生態. *地球環境*, 14(1): . 2009.01
84. 石田厚, 中野隆志(山梨県環境科学研究所), 矢崎健一, 松木佐和子(岩手大学), 山路恵子(筑波大学), 清水美智留, 山下直子. 小笠原乾燥尾根部に成育する植物の葉と茎の生理生態学的特性. *Ogasawara Research*, 34(1): . 2009.03
85. Tomoko Nishida (西田智子)((独)農業環境技術研究所), Naoko Yamashita (山下直子), Motoaki Asai (浅井元朗)((独)農業・食品産業技術総合研究機構), Shunji Kurokawa (黒川俊二)((独)農業・食品産業技術総合研究機構), Takeshi Enomono (榎本敬)(岡山大学), Paul C.Pheloung(Agriculture Fisheries and Forestry Australia), Richard H. Groves (CSI). Developing a pre-entry weed risk assessment system for use in Japan. (日本における導入前雑草リスク評価法の構築). *Biological Invasions Online publication*: . 2008.08
86. 石田厚, 山下直子. 光変動環境に対するアカギと在来樹種の反応. 種生物学シンポジウム講演要旨集, 40: 21-25. 2008.12
87. 山下直子, 河原孝行. 小笠原の侵入種アカギと在来種の種子と実生の動態. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc1-18. 2008.03
88. 山下直子. アカギの侵入をクマネズミが助けた. 森林総合研究所関西支所研究情報, 88: 2. 2008.05

89. 河原孝行, 山下直子, 北村系子, 永光輝義. 絶滅危惧植物レブンアツモリソウの個体群動態. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 219. 2009.03
90. 五十嵐哲也. ヒノキ人工林の埋土種子組成. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 80. 2008.10
91. 前藤薫(神戸大学), Woro A. Noerdjito (LIPI), 五十嵐哲也, 高橋正義, 福山研二. 大規模森林火災がコマユバチ科寄生蜂の種多様性に与える影響. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 68: . 2008.09
92. 上田明良, 高橋正義, 五十嵐哲也, Woro A. N., Dhian D. S. (インドネシア科学院), 近雅博(滋賀県立大学), 福山研二. ボルネオ島低地の森林からの距離と糞・腐肉食性コガネムシ類群集の関係. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 68: . 2008.09
93. Tanaka, H. (田中浩), Igarashi, T. (五十嵐哲也), Niiyama, K. (新山馨), Shibata, M. (柴田銃江), Miyamoto, A. (宮本麻子), Nagaïke, T. (長池卓男) (山梨県森林総合研究所). Changes in plant diversity after conversion from secondary broadleaf forest to Cryptomeria plantation forest: chronosequential changes in forest floor plant diversity. (広葉樹二次林からスギ人工林への転換後の植物多様性の変化: 林床植物の時系列変化). Abstracts of the conference on Feasibility of Silviculture for Complex Stand Structures; -Designing Stand Structures for Sustainability and Multiple Objectives- : 103. 2008.10
94. Tetsuya Igarashi (五十嵐哲也), Herwint Simbolon, and Agus Ruskandi. Possibility of recovering natural forests species under Acacia mangium plantation forests. Abstracts of the conference on CDM Plantation and Biodiversity : . 2009.01
95. 伊東宏樹, 五十嵐哲也, 衣浦晴生. 京都市京北地区におけるナラ類集団枯損による林分構造の変化. 日本森林学会誌, 91: 15-20. 2009.03
96. 五十嵐哲也. ヒノキ人工林に出現する植物. 森林総合研究所関西支所研究情報, 91: 2. 2009.02
97. 溝口岳男, 平野恭弘, 谷川東子, 牧田直樹(神戸大学). カメラ埋設型ミニリゾトロンによる落葉広葉樹二次林の細根動態の解析. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F53. 2009.03
98. 檀浦正子(京都大学), 小杉緑子, 兼光修平, 谷誠(京都大学), 牧田直樹(神戸大学), 伊藤雅之((独)農業環境技術研究所), 溝口岳男, 高梨聡. 土壌呼吸の構成要素としての根の役割 - 京都ヒノキ林およびマレーシア熱帯林における測定より - . 日本森林学会大会学術講演集, 120: F47. 2009.03
99. 溝口岳男, 谷川東子, 平野恭弘. 山城試験地周辺森林における渓流水の水質. 森林総合研究所関西支所年報, 49: 53-54. 2008.12
100. 溝口岳男, 平野恭弘. 比叡山高齢ヒノキ造林地における土壌養分分布と樹木養分濃度との関係. 森林総合研究所関西支所年報, 49: 44. 2008.12
101. 溝口岳男, 平野恭弘. ヒノキ高齢造林地の養分事情 - 大きな木はやりくりが上手? - . 森林総合研究所関西支所研究情報, 90: 2. 2008.11

- 102 . Hasegawa M , Fukuyama K , Makino S , Okochi , I , Tanaka H , Okabe K , Goto H , Mizoguchi T (溝口岳男) , and Sakata T . Comparison of collembolan community between broad-leaved forests and man-made conifer stands of *Cryptomeria japonica* (Taxodiaceae) in central Japan. . XII International Colloquium on Apterygota : . 2008.09
- 103 . 玉井幸治 , 後藤義明 , 小南裕志 , 深山貴文 , 細田育広 . 竜ノ口山森林理水試験地観測報告 (2001年1月 ~ 2005年12月) . 森林総合研究所研究報告 , 408 : 125-138 . 2008.09
- 104 . Tamai Koji (玉井幸治) , Kominami Yuji (小南裕志) , Miyama Takafumi (深山貴文) , Goto Yoshiaki (後藤義明) , Ohtani Yoshikazu (大谷義一) . Topographical effects on soil respiration in a deciduous forest-The case of weathered granite region in southern Kyoto Prefecture-(落葉樹林における土壌呼吸に地形が及ぼす影響 - 京都府南部の風化カコウ岩地帯における事例 -) . 農業気象 , 64(4) : 215-222 . 2008.12
- 105 . Okumura Motonori (奥村智憲) (京都大学) , Tani Akira (谷晃) (静岡県立大学) , Kominami Yuji (小南裕志) , Takanashi Satoru (高梨聡) , Kosugi Yoshiko (小杉緑子) (京都大学) , Miyama Takafumi (深山貴文) and Tohno Susumu (東野達) (京都大学) . Isoprene emission characteristics of *Quercus serrata* in a deciduous broad-leaved forest . 農業気象 , 64 : 49-60 . 2008.06
- 106 . Yuji Kominami (小南裕志) , Mayuko Jomura (上村真由子) ((独) 農業環境技術研究所) , Masako Dannoura (檀浦正子) (京都大学) , Yoshiaki Goto (後藤義明) , Koji Tamai (玉井幸治) , Takafumi Miyama (深山貴文) , Yoichi Kanazawa (金澤洋一) (神戸大学) , Shinji Kaneko (金子真司) , Motonori Okumura (奥村知憲) (京都大学) , Noriko Misawa (三澤範子) (神戸大学) , Shogo Hamada (浜田昇吾) . Biometric and eddy-covariance-based estimates of carbon balance for a warm-temperate mixed forest in Japan (日本の暖温帯混交林における生態学的手法と微気象学的手法による炭素収支の推定) . Agricultural and Forest Meteorology , 148(5) : 723-737 . 2008.05
- 107 . Okumura Motonori (奥村智憲) (京都大学) , Tani Akira (谷晃) (静岡県立大学) , Kominami Yuji (小南裕志) , Miyama Takafumi (深山貴文) , Takanashi Satoru (高梨聡) , Kosugi Yoshiko (小杉緑子) (京都大学) , Nakagawa Kenta (中川健太) (京都大学) , Tohno Susumu (東野達) (京都大学) . Isoprene emission Characteristics of Japanese oak in a deciduous broad-leaved forest . Proceedings of Asia flux work shop 2008 : 26 . 2008.11
- 108 . Yuji Kominami (小南裕志) , Mayuko Jomura (上村真由子) ((独) 農業環境技術研究所) , Masako Dannoura (檀浦正子) (京都大学) , Takafumi Miyama (深山貴文) , Mioko Teshima (神戸大学) , Akira Matsumoto (神戸大学) and Yoichi Kanazawa (金澤洋一) (神戸大学) . Effect of respiration characteristics of forest compartments to NEP for a warm temperate mixed forest in Japan . Proceedings of Asia flux work shop 2008 : 49 . 2008.11
- 109 . 津山幾太郎 , 松井哲哉 , 小川みゆゆ , 小南裕志 , 田中信行 . 本州東部におけるチシマザサの潜在分布域の予測と気候変化の影響評価 . GIS理論と応用 : . 2008.11
- 110 . 安宅未央子 (神戸大学) , 小南裕志 , 上村真由子 ((独) 農業環境技術研究所) , 金澤洋一 (神戸大学) . 落葉広葉樹におけるリター分解の空間分布の評価 . 日本生態学会大会講演要旨集 , 56 : 452 . 2009.03

111. 松本晃(神戸大学), 金澤洋一(神戸大学), 小南裕志. 暖温帯広葉樹二次林における枯死根からの分解呼吸の評価. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc2-33. 2009.03
112. 安宅未央子(神戸大学), 小南裕志, 上村真由子((独)農業環境技術研究所), 金澤洋一(神戸大学). 広葉樹二次林の炭素循環における葉リター分解呼吸量の評価. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc2-32. 2009.03
113. 上村真由子(神戸大学), 小南裕志, 金澤洋一(神戸大学). 密閉式自動チャンバーを用いた落葉リター分解呼吸量の測定. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pa2-11. 2009.03
114. 小南裕志. 落葉広葉樹二次林のCO₂固定量. 森林総合研究所関西支所年報, 49: 45. 2008.12
115. M. Ataka(安宅未央子)(神戸大学), Y. Kominami(小南裕志) and Y. Kanazawa(金澤洋一)(神戸大学). Evaluation of CO₂ flux from leaf litter using multiplayer litter sample method. Proceedings of Asia flux workshop, 2008: 46. 2008.11
116. Masako Dannoura(檀浦正子)(京都大学), Yuji Kominami(小南裕志), Hiroyuki Oguma(小熊弘幸)((独)国立環境研究所) and Yoichi Kanazawa(金澤洋一)(神戸大学). The development of an optical scanner method for observation of plant root dynamics. Plant Root, 2: 14-18. 2008.09
117. Makita, N.(牧田直樹)(神戸大学), Dannoura, M.(檀浦正子)(京都大学), Kominami, Y.(小南裕志), Hirano, Y.(平野恭弘), Mizoguchi, T.(溝口岳男) and Kanazawa, Y.(金澤洋一)(神戸大学). Specific root length and root diameter are related to variation in fine root respiration. Woody Roots and Ecosystem services, Book of abstract R014. 2008.06
118. 小南裕志, 深山貴文, 上村真由子((独)農業環境技術研究所), 檀浦正子(京都大学). 温帯域の落葉広葉樹林のCO₂吸収量の決定困難性とその対応. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 45. 2008.10
119. 小南裕志, 深山貴文, 奥村智憲(京都大学), 牧田直樹(神戸大学), 金澤洋一(神戸大学). 林内タワーを用いた斜面CO₂濃度分布と林内風速の関係. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc2-31. 2009.03
120. 小南裕志, 上村真由子((独)農業環境技術研究所), 牧田直樹(神戸大学), 安宅未央子(神戸大学), 松本晃(神戸大学), 深山貴文, 檀浦正子(京都大学), 金澤洋一(神戸大学). 暖温帯二次林のフラックス観測による炭素蓄積量推定とその問題点. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 222. 2009.03
121. 小南裕志. 落葉広葉樹二次林のCO₂固定量. 森林総合研究所関西支所研究情報, 89: 2. 2008.08
122. 谷川東子, 高橋正通, 今矢明宏. アンディソルにおける吸蔵態・沈殿態硫酸イオンの集積. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pa 2-10. 2009.03
123. 石田卓也(名古屋大学), 竹中千里(名古屋大学), 宮岡邦任(三重大学), 沼本晋也(三重大学), 谷川東子. 過去大量排出された硫黄化合物の森林土壌における痕跡. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pa 2-09. 2009.03

124. 池田智恵 (神戸大学), 牧田直樹 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学), 平野恭弘, 溝口岳男. 異質土壌環境下におけるヒノキ細根次数の特性. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F49. 2009.03
125. 牧田直樹 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学), 檀浦正子 (京都大学), 平野恭弘, 溝口岳男, 小南裕志. 広葉樹二次林におけるコナラとソヨゴの細根の分布と形態特性. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F52. 2009.03
126. Makita N (牧田直樹)(神戸大学), Hirano N (平野恭弘), Dannoura M (檀浦正子)(京都大学), Yuji Kominami Y (小南裕志) Mizoguchi T (溝口岳男), Ishii H (石井弘明)(神戸大学) and Kanazawa Y (金澤洋一)(神戸大学). Fine root morphological traits determine variation in root respiration of *Quercus serrata*. *Tree Physiology*, 29(4): 579-585. 2009.02
127. Dannoura, M. (檀浦正子)(京都大学), Hirano, Y. (平野恭弘), Igarashi, T. (五十嵐鉄朗)((株)環境総合テクノス), Ishii, M. (石井政博)((株)環境総合テクノス), Aono, K. (青野健治)((株)環境総合テクノス), Yamase, K. (山瀬敬太郎)(兵庫県) and Kanazawa, Y. (金澤洋一)(神戸大学). Detection of *Cryptomeria japonica* roots with ground penetrating radar. *Plant Biosystems*, 142: 375-380. 2008.07
128. Hirano, Y. (平野恭弘), Dannoura, M. (檀浦正子)(京都大学), Igarashi, T. (五十嵐鉄朗)((株)環境総合テクノス), Ishii, M. (石井政博)((株)環境総合テクノス), Aono, K. (青野健治)((株)環境総合テクノス), Yamase, K. (山瀬敬太郎)(兵庫県), Makita, N. (牧田直樹)(神戸大学) and Kanazawa, Y. (金澤洋一)(神戸大学). Water content of roots affects detection of tree roots with ground penetrating radar. *Woody Roots and Ecosystem services, Book of abstract R027*. 2008.06
129. Hirano, Y. (平野恭弘), Beat F. (スイス森林研究所), and Brunner, I. (スイス森林研究所). Differential responses in aluminium-induced callose formation in roots among tree species. *Woody Roots and Ecosystem services, Book of abstract R026*. 2008.06
130. 平野恭弘, 牧田直樹 (神戸大学), 池田智恵 (神戸大学), 小島永裕 (滋賀県), 山瀬敬太郎 (兵庫県), 野崎愛 (京都府). 関西地域の酸緩衝能の異なる土壌で育成されたスギ苗の根系反応. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F55. 2009.03
131. 山本梨加 (神戸大学), 平野恭弘, 檀浦正子 (京都大学), 五十嵐鉄朗 ((株)環境総合テクノス), 石井政博 ((株)環境総合テクノス), 青野健治 ((株)環境総合テクノス), 山瀬敬太郎 (兵庫県), 牧田直樹 (神戸大学), 池田智恵 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学). 地中レーダ法を用いた海岸クロマツ林根系の把握. 日本森林学会大会学術講演集, 120: F45. 2009.03
132. 平野恭弘. 地中レーダで根の位置を探る. 森林総合研究所関西支所研究情報, 88: 3. 2008.05
133. 奥村智恵 (京都大学), 谷晃 (静岡県立大学), 小杉緑子 (京都大学), 高梨聡, 深山貴文, 小南裕志, 東野達 (京都大学). ヒノキ葉から放出されるモノテルペンの日変化と季節変化. *Eco-Engineering*, 20: 89-95. 2008.04
134. Takafumi Miyama (深山貴文), Taro Hashimoto (橋本太郎)(神戸大学), Yuji Kominami (小南裕志), Motonori Okumura (奥村智恵)(京都大学), Kenta Nakagawa (中川健太)(京都大学) and Susumu Tohno(東野達)(京都大学). METHANE CONCENTRATION PROFILES IN WARM-TEMPERATE UPLAND

FOREST OF CENTRAL JAPAN . Proceedings of Asia flux work shop 2008 : 48 . 2008.11

- 135 . Kenta Nakagawa (中川健太)(京都大学), Motonori Okumura (奥村智慧)(京都大学), Takafumi Miyama (深山貴文), Yuji Kominami (小南裕志), Akira Tani (谷晃)(静岡県立大学), Minoru Yoneda (米田実)(京都大学) and Susumu Tohno (東野達)(京都大学). ISOPRENE FLUX MEASUREMENT USING RELAXED EDDY ACCUMULATION TECHNIQUE IN JAPANESE OAK FOREST . Proceedings of Asia flux work shop 2008 : 49 . 2008.11
- 136 . Taro Hashimoto (橋本太郎)(神戸大学), Takafumi Miyama (深山貴文), Yuji Kominami (小南裕志), Yoichi Kanazawa (金澤洋一)(神戸大学). METHANE EMISSION FROM THE ROOTS OF BROAD-LEAVED SECONDARY FOREST . Proceedings of Asia flux work shop 2008 : 48 . 2008.11
- 137 . 深山貴文, 小南裕志, 橋本太郎 (神戸大学). 京都府南部の落葉広葉樹林におけるメタン濃度プロファイルの観測 . 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59 : 44 . 2008.10
- 138 . 橋本太郎 (神戸大学), 金澤洋一 (神戸大学), 深山貴文, 小南裕志 . 広葉樹二次林の溪畔域におけるメタン放出特性 . 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59 : 46 . 2008.10
- 139 . 深山貴文, 小南裕志, 橋本太郎 (神戸大学). 落葉広葉樹二次林におけるメタン濃度分布特性について . 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pc2-34 . 2009.03
- 140 . 深山貴文, 小南裕志 . 山城試験地におけるイソプレン濃度の日変動特性について . 森林総合研究所関西支所年報, 49 : 46 . 2009.02
- 141 . 橋本太郎 (神戸大学), 深山貴文, 小南裕志, 金澤洋一 (神戸大学). 広葉樹二次林におけるメタン放出について . 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 449 . 2009.03
- 142 . Takafumi Miyama (深山貴文), Taro Hashimoto (橋本太郎)(神戸大学), Yuji Kominami (小南裕志), Motonori Okumura (奥村智慧)(京都大学), Susumu Tohno (東野達)(京都大学). Daily and seasonal variation of methane concentration in warm-temperate mixed forest . Proceedings of International Symposium On Agricultural Meteorology , 2009 : 136 . 2009.03
- 143 . 大野卓夫 (静岡県立大学), 三輪誠 (埼玉県環境科学国際センター), 米倉哲志 (埼玉県環境科学国際センター), 深山貴文, 奥村智慧 (京都大学), 谷晃 (静岡県立大学). 100日間のオゾン暴露がコナラとヒノキのテルペン類放出に及ぼす影響 . 日本農業気象学会2009年全国大会講演要旨集 : 52 . 2009.03
- 144 . 大井徹, 大西尚樹, 山田文雄, 北原英治 . 京都府で有害捕獲されたツキノワグマの性・年齢構成の特徴 . 哺乳類科学, 48 : 17-24 . 2008.06
- 145 . Oi Toru (大井徹), Hitomi Furusawa (古澤仁美). Nutritional condition and dietary profile of Japanese black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) killed in western Japan in autumn 2004 (2004年秋に西日本で捕獲されたツキノワグマの栄養状態と食性履歴). Mammal Study , 33 : 163-171 . 2008.12

146. Oi Toru (大井徹), Aye Mi San (ヤンゴン大学), Nyo Nyo (ヤンゴン大学), Tin Nwe (ヤンゴン大学). Aggregation of Red Jungle Fowl *Gallus gallus* on a road in Alaungdaw Kathapa National Park, Myanmar (ミャンマーアランドカタファ国立公園の道路沿いに見られた赤色野鶏の集団について). *Biosphere Conservation*, 9(1): 47-51. 2008.11
147. 間野勉 (北海道環境科学研究センター), 大井徹, 横山真弓 (兵庫県立大学), 山崎晃司 (茨城県自然博物館), 釣賀一二三 (北海道環境科学研究センター), 高柳敦 (京都大学), 山中正美 ((財)知床財団). 特集「クマ類の特定鳥獣保護管理計画の実施状況と課題」にあたって. *哺乳類科学*, 48: 39-42. 2008.06
148. 間野勉 (北海道環境科学研究センター), 大井徹, 横山真弓 (兵庫県立大学), 高柳敦 (京都大学). 日本におけるクマ類の個体群管理の現状と課題. *哺乳類科学*, 48: 43-56. 2008.06
149. 金森弘樹 (島根県中山間研究センター), 田中浩 (山口県立博物館), 田戸裕之 (山口県林業指導センター), 藤井猛 (広島県農林水産局), 澤田誠吾 (島根県中山間地域研究センター), 黒崎敏文 ((財)自然環境研究センター), 大井徹. 西中国地方におけるツキノワグマの特定鳥獣保護管理計画の現状と課題. *哺乳類科学*, 48: 57-64. 2008.06
150. 大井徹, 高橋裕史, 岡田充博 (長野県林業総合センター), 小金澤正昭 (宇都宮大学), 安富舞 (日本獣医生命科学大学), 羽山伸一 (日本獣医生命科学大学), 川路則友. サルを山に帰して被害を防止、「追い上げ」マニュアルを作成. *森林総合研究所平成20年版研究成果選集*: 26-27. 2008.07
151. 大井徹. サルを山に返し被害を減らす追い上げ対策. *山林*, 1492:18-27. 2008.09
152. 大井徹. 野生生物保護学会後援事業報告(2). *ワイルドライフ・フォーラム*, 13: 56. 2009.02
153. 大井徹. ニホンザルを追って. *東海新報*, 2009年3月1日版, 3. 2009.03
154. 大井徹, 大西尚樹. 報告 - ツキノワグマの出没メカニズムに関するワークショップ -. *Bears Japan*, 9: 50-51. 2009.02
155. Oi Toru (大井徹), Naoki Ohnishi(大西尚樹), Hitomi Furusawa (古澤仁美), Takeshi Fujii (藤井猛)(広島県農林水産局). Nutritional condition and dietary profile of invasive bears in Hiroshima Prefecture, western Japan (西日本、広島県における出没グマの栄養状態と食性履歴). *FFPRI Scientific Meeting Report 4 "Biology of Bear Intrusions"*: 44-47. 2009.03
156. 大井徹. ニホンザル個体群と猿害の現状、そして改定マニュアルの課題. 日本霊長類学会大会自由集会「特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル(ニホンザル)改定について. *霊長類研究*, 24(2): 160-161. 2008.07
157. Yamazaki Koji (山崎晃司)(茨城自然博物館), Oi Toru (大井徹). Current status and conservation issues of Asian bears (アジアのクマ類の生息状況と保全問題). *Proceedings of Joint Meeting of the 3rd International Meeting on Asian Zoo/Wildlife Medicine and Conservation and the 10th National Veterinary Scientific Conference of IVMA (Bogor, Indonesia)*: 9-10. 2008.08

158. Oi Toru (大井徹), Furusawa Hitomi (古澤仁美). The relationship between dietary profile and nutritional condition of the Japanese black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) that intruded residential areas (出没したツキノワグマの食性履歴と栄養状態の関係). Proceedings of Joint Meeting of the 3rd International Meeting on Asian Zoo/Wildlife Medicine and Conservation and the 10th National Veterinary Scientific Conference of IVMA (Bogor, Indonesia): 166-168. 2008.08
159. 大井徹, 大西尚樹, 古澤仁美. 2006年大量出没の秋に広島県で有害捕獲されたツキノワグマの栄養状態と食性履歴. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 90. 2008.09
160. 大井徹, 堀野眞一, 矢部恒晶, 奥村栄朗, 吉田洋 (山梨県環境科学研究所), 常田邦彦 ((財)自然環境研究センター), 石井信夫 (東京女子大学), 室山泰之 (兵庫県立大学). ニホンザルの保護管理に関する各都府県の取り組みと課題. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 71. 2008.09
161. 大井徹, 大西尚樹, 古澤仁美, 藤井猛 (広島県農林水産局). Nutritional condition and dietary profile of invasive bears in Hiroshima Prefecture, western Japan (広島県で出没したクマの栄養状態と食性履歴について). International Workshop on "The Mechanism of the Intrusion of Bears into Residential Areas" (クマ類の出没メカニズムに関する国際ワークショップ) 講演要旨集: 10. 2008.11
162. 大井徹, 大西尚樹, 古澤仁美, 藤井猛 (広島県農林水産局). Nutritional condition and dietary profile of invasive bears in Hiroshima Prefecture, western Japan (広島県で出没したクマの栄養状態と食性履歴について). FFPRI Scientific Meeting Report 4 "Biology of Bear Intrusions": 44-47. 2009.03
163. 宮下俊一郎, 楠木学. ケケンポナシてんぐ巣病ファイトプラズマの16S rDNA塩基配列解析. 森林応用研究, 17(1): 29-32. 2008.10
164. 宮下俊一郎. DNA鑑定で樹木病原菌の余罪が発覚?! . 森林総合研究所関西支所研究情報, 89: 3. 2008.08
165. Masahiro Shishido (宍戸雅宏) (千葉大学), Kazunori Sakamoto (坂本一憲) (千葉大学), Hidemi Yokoyama (横山秀美) (千葉大学), Noriaki Momma (門馬法明) (千葉大学), Shun-Ichiro Miyashita (宮下俊一郎). Changes in microbial communities in an apple orchard and its adjacent bush soil in response to season, land-use, and violet root rot infestation. (リンゴ園と隣接林地における季節、利用形態、紫紋羽病発生に回答した土壌微生物群集の変化). *Soil Biology & Biochemistry*, 40: 1460-1473. 2008.06
166. 梶光一 (東京農工大学), 高橋裕史. 洞爺湖中島のエゾシカの個体数変動. 洞爺湖環境フォーラム講演要旨集: 18-19. 2008.06
167. 高橋裕史. 2004年台風18号風倒地のニホンジカ: 千歳国有林周辺の分布. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 81. 2008.09
168. 松浦友紀子 (北海道大学), 伊吾田宏正 (酪農大学), 柳川洋二郎 (北海道大学), 高橋裕史, 鈴木正嗣 (岐阜大学). Vaginal implant transmitterを用いたエゾシカの出産検知の試み. 日本哺乳類学会2008年度大会プログラム・講演要旨集: 79. 2008.09

- 169 . 梶光一 (東京農工大学), 高橋裕史 . エゾシカの餌資源制限による体重変動と個体群制御 . 個体群生態学会年次大会講演要旨集 , 24 : 33 . 2008.10
- 170 . Kaji Koichi (梶光一) (東京農工大学), Takahashi Hiroshi (高橋裕史), Okada Hideaki (岡田秀明)((財)知床財団), Kohira Masao (小平真佐夫)((財)知床財団), Yamanaka Masami (山中正実)((財)知床財団). Irruptive behavior in sika deer. (ニホンジカの爆発的増加). (McCullough, D. R., S. Takatsuki and K. Kaji eds.) Sika Deer: Biology and Management of Native and Introduced Populations : 421-435 . 2008.11
- 171 . 高橋裕史 . 数える、防ぐ、ときどき食べる - 森林保全を目指した野生動物管理 - . 森林総合研究所関西支所年報 49 : 64-65 . 2008.12
- 172 . 高橋裕史, 日野輝明, 伊東宏樹 . 群れカウントによる大台ヶ原のニホンジカ利用度の評価 . 日本生態学会大会講演要旨集 , 56 : 318 . 2009.03
- 173 . 梶光一 (東京農工大学), 高橋裕史 . 長期餌資源制限がニホンジカの生活史特性へ及ぼすフィードバック効果の可能性 . 日本生態学会大会講演要旨集 , 56 : 247 . 2009.03
- 174 . 山本悠子 (東京農工大学), 宮木雅美 (北海道大学), 高橋裕史, 梶光一 (東京農工大学). 餌資源の質と量によるエゾシカの生息地評価 ~ 対照的な二地域、知床岬・洞爺湖中島の比較 ~ . 日本生態学会大会講演要旨集 , 56 : 364 . 2009.03
- 175 . Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Observation of spermatophore transfer in *Stavsolus japonicus* (Plecoptera: Perlodidae) in Japan. . *Entomological News* , 119 : 123-130 . 2008.04
- 176 . Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Age-related changes in the development of oocytes and testicular follicles after emergence in *Stavsolus japonicus* (Plecoptera) . . *Physiological Entomology* , 34 : 39-45 . 2009.03
- 177 . Yu Isobe (奈良女子文化短期大学), Mayumi Yoshimura (吉村真由美) and Tadashi Oishi (奈良女子大学). Eggs in the sandy shore and the ecological importance of an ovoid egg in a mountain stream. . F.R. Hauer, J.A. Stanford and R.L. Newell (eds). *International Advances in the Ecology, Zoogeography and Systematics of Mayflies and Stoneflies*. University of California Press. Berkeley, California, USA : 51-60 . 2008.06
- 178 . Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Adult stonefly behavior before and after mating. . F.R. Hauer, J.A. Stanford and R.L. Newell (eds). *International Advances in the Ecology, Zoogeography and Systematics of Mayflies and Stoneflies*. University of California Press. Berkeley, California, USA : 79-88 . 2008.06
- 179 . Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Relationship between stonefly assemblages and riparian environment: case study in mountain stream in Japan. . *Verhandlungen der Internationale Vereinigung für theoretische und angewandte Limnologie*, 30 4 : 537-540 . 2008.08
- 180 . Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of the time towards light in Plecoptera. . *Abstract book of XVI International Symposium on Plecoptera and XII International Conference on Ephemeroptera* , 89 : . 2008.06

181. Mayumi Yoshimura (吉村真由美). Comparison of stream benthic invertebrate particularly stonefly assemblages in the temperate forest in Japan: in relation to forest types. . Abstract book of XVI International Symposium on Plecoptera and XII International Conference on Ephemeroptera , 49 : . 2008.06
182. 吉村真由美. 底生動物群集の流程分布とその支流における群集構造との関係. 日本動物学会大会予稿集, 79 : 134 . 2008.09
183. 吉村真由美. 底生動物群集と森林タイプとの関係. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 68 : 70 . 2008.09
184. 吉村真由美. 紀伊半島および四国における森林流域植生と底生動物群集の関係. 日本陸水学会大会講演要旨集, 73 : 167 . 2008.10
185. 吉村真由美. 温暖帯における薪炭林施業によるアリ群集への影響. 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 360 . 2009.03
186. 吉村真由美. 生き物通信 - ミヤマカワトンボ - . 季刊森林総研, 2 : 19 . 2008.08
187. 吉村真由美. 森林タイプと溪流の川底に生息する動物との関係. 森林総合研究所関西支所研究情報, 90 : 3 . 2008.11
188. Ohinishi Naoki (大西尚樹), Takashi Yuasa (湯浅卓)((株)野生動物保護管理事務所), Yoshiki Morimitsu (森光由樹)(兵庫県立大学), Atsuhisa Yoshida (吉田淳久)((株)野生動物保護管理事務所), Kazuyori Mamiya (間宮寿頼)(富山県自然博物館ねいの里), Toru Oi (大井徹) . Is there a genetic difference between invasive and non-invasive bears? (出没グマと非出没グマに遺伝的差異はあるか?). FFPRI Scientific Meeting Report 4 "Biology of Bear Intrusions" : 56-59 . 2009.03
189. 大西尚樹, 金澤文吾 (NPO法人四国自然史科学研究センター), 長久保義紀 (生態系トラスト協会). 四国におけるツキノワグマの個体情報の収集～体毛をもちいた遺伝学的手法による個体識別～. 保全生態学研究, 13 : 129-135 . 2008.05
190. 金澤文吾 (NPO法人四国自然史科学研究センター), 草刈秀紀 (WWFジャパン), 大西尚樹, 八束翔 (麻布大学), 村上賢 (麻布大学). 四国剣山山系におけるツキノワグマ個体数推定の課題. 野生生物保護学会2008年度大会講演要旨集 : 87-88 . 2008.11
191. 大西尚樹, 湯浅卓 ((株)野生動物管理事務所), 森光由樹 (兵庫県立大学 / 森林動物研究センター), 吉田淳久 ((株)野生動物管理事務所), 間宮寿頼 (富山県自然博物館ねいの里), 大井徹. Is there a genetic difference between invasive and non-invasive bears? (人里に出没したクマと出没しなかったクマに遺伝的な差違はあるのか?). International Workshop on "The Mechanism of the Intrusion of Bears into Residential Areas" (クマ類の出没メカニズムに関する国際ワークショップ) 講演要旨集 : 13 . 2008.11
192. 大西尚樹, 湯浅卓 ((株)野生動物管理事務所), 森光由樹 (兵庫県立大学 / 森林動物研究センター), 吉田淳久 ((株)野生動物管理事務所), 間宮寿頼 (富山県自然博物館ねいの里), 大井徹. Is there a genetic difference between invasive and non-invasive bears? (人里に出没したクマと出没しなかったクマに遺伝的な差違はあるのか?)

- か?). FFPRI Scientific Meeting Report 4 "Biology of Bear Intrusions" : 56-59 . 2009.03
- 193 . 大西尚樹, 鷓野レイナ (慶応大学), 石橋靖幸, 玉手英利 (山形大学), 大井徹 . 系統地理学的アプローチからツキノワグマの分布拡大過程をさぐる . 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 247 . 2009.03
- 194 . 大西尚樹 . 体毛を用いたツキノワグマの個体情報収集 . 森林総合研究所関西支所年報, 49 : 47 . 2008.12
- 195 . Ota Yuko (太田祐子), Hattori Tsutomu (服部力) . Relationships among three Japanese *Laetiporus* taxa based on phylogenetic analysis and incompatibility tests. (日本産マスタケ属3分類群の系統関係および交配関係) . *Mycoscience* , 49 : 168-177 . 2008.06
- 196 . Sotome Kozue (早乙女梢)(筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota Yuko (太田祐子), To-anun C (チェンマイ大学), Salleh B (マレーシア科学大学), Kakishima Makoto (柿島眞)(筑波大学) . Phylogenetic relationships of *Polyporus* and morphologically allied genera (タマチヨレイタケ属および近縁属の系統関係) . *Mycologia* , 100 : 603-615 . 2008.07
- 197 . Rungjindamai N (タイ, BIOTEC), Pinruan U (タイ, BIOTEC), Choeyklin R (タイ, BIOTEC), Hattori Tsutomu (服部力) Jones EBG (タイ, BIOTEC) . Molecular characterization of basidiomycetous endophytes isolated from leaves, rachis and petioles of the oil palm, *Elaeis guineensis*, in Thailand (タイにおけるアブラヤシの担子菌性エンドファイトの分子系統学的位置づけ) . *Fungal Diversity* , 33 : 139-160 . 2008.11
- 198 . 橋屋誠 (富山県中央植物園), 高畠幸司 (富山県林業試験場), 井口潔 (菌懇会), 服部力, 安藤洋子 (鳥取大学), 細矢剛 (国立科学博物館), 中島千晴 (三重大学), 藤岡佳代子 (三重大学), 高松進 (三重大学) . 2007年度日本菌学会菌類観察会採集リスト . 日本菌学会ニュースレター, 2008(2) : 1-5 . 2008.04
- 199 . 細矢剛 (国立科学博物館), 青木孝之 ((独)農業生物資源研究所) 服部力, 根田仁, 田中千尋 (京都大学), 勝本謙 (山口大学), 松本淳 . 菌類の和名を考える - 日本菌学会データベース委員会の取り組み . 日本菌学会大会講演要旨集, 52 : 23 . 2008.06
- 200 . 服部力, 長谷川元洋, Chung AYC (サバ森林研究所), 北山兼弘 (京都大学) . マレーシア・デラマコットにおける硬質菌群集の択伐施業に対する反応 . 日本菌学会大会講演要旨集, 52 : 51 . 2008.06
- 201 . 太田祐子, 徳田佐和子 (北海道立林業試験場), 加賀谷悦子, 早乙女梢 (筑波大学), 服部力 . マツノネクチタケのトマツ被害地におけるジェネット分布について . 日本菌学会大会講演要旨集, 52 : 73 . 2008.06
- 202 . 早乙女梢 (筑波大学), 服部力, 太田祐子, 柿島眞 (筑波大学) . 日本産 *Echinochaete* 属 (サビハチノスタケ属) の分類学的検討 . 日本菌学会大会講演要旨集, 52 : 82 . 2008.06
- 203 . Yamashita Satoshi (山下聡)(京都大学), Hattori Tsutomu (服部力), Nakashizuka Toru (中静透)(東北大学) . Factors affecting spatial distribution of wood-inhabiting fungi (Polyporales & Hymenochaetales) in Southeast Asia. (東南アジアにおける木材腐朽菌の空間分布に影響する要因) . The Annual Meeting of the Association of Tropical Biology and Conservation 9-13 June, 2008 (CD-ROM) : P1 . 37 . 2008.06

- 204 . 細矢剛 (国立科学博物館), 青木孝之 ((独) 農業生物資源研究所) 服部力, 根田仁, 田中千尋 (京都大学), 勝本謙 (山口大学), 松本淳 (朝日町立植物園). 日本菌学会推奨和名の決定についての手順. 日本菌学会会報, 49 : 99-101 . 2008.06
- 205 . Hattori Tsutomu (服部力), Hasegawa Motohiro (長谷川元洋), Chung AYC, Kitayama Kanehiro (北山兼弘). Effect of forest logging on community of aphyllophoraceous fungi in Deramakot, Malaysia (マレーシアデラマコットにおける森林伐採がヒダナシタケ型菌類に及ぼす影響). Symposium, China-Japan Pan Asia Pacific Mycology Forum, 91 : . 2008.07
- 206 . Sotome kozue (早乙女梢)(筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota Yuko (太田祐子), To-anun C (チェンマイ大学), Salleh B (マレーシア科学大学), Kakishima Makoto (柿嶋眞). Phylogenetic relationships of *Polyporus* and morphologically allied genera. (タマチヨレイタケおよび形態的に類似した属の系統関係). Symposium, China-Japan Pan Asia Pacific Mycology Forum : 68 . 2008.07
- 207 . Sotome kozue (早乙女梢)(筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota Yuko (太田祐子), Lee Su-See (マレーシア森林研究所), Vikineswary S (マラヤ大学), Kakishima Makoto (筑波大学). Taxonomic study of Asian *Echinochaete* (アジア産サビハチノスタケ属の分類学的研究). Symposium, China-Japan Pan Asia Pacific Mycology Forum, 83 . 2008.07
- 208 . Sotome kozue (早乙女梢)(筑波大学), Hattori Tsutomu (服部力), Ota Yuko (太田祐子), Kakishima Makoto (柿嶋眞). Taxonomy of the *Polyporus pseudobetulinus* complex in japan (*Polyporus pseudobetulinus* 複合種の分類). Symposium, China-Japan Pan Asia Pacific Mycology Forum : 84-85 . 2008.07
- 209 . 長谷川元洋, 服部力, 末吉昌宏, 吉田智弘 (東京農工大学). 生態系の持続性指標としての群集組成. 日本生態学会大会講演要旨集, 56 : 160 . 2009.03
- 210 . 服部力, 寺嶋芳江 (千葉県農林業総合研究センター森林研究所), 鈴木健 (千葉県農林業総合研究センター森林研究所). スギ非赤枯性溝腐病の病原菌. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pc1-48 . 2009.03
- 211 . 太田祐子, Gregor Hagedorn (ドイツ連邦栽培植物研究センター), 徳田佐和子 (北海道立林業試験場), 服部力. 木材腐朽菌の子実体および培養菌糸の形態的特徴からの同定システム. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pc1-49 . 2009.03
- 212 . 山下聡 (京都大学), 吉村剛 (京都大学), 佐藤大樹, 服部力. 人為活動が多孔菌類群集に及ぼす影響. 日本森林学会大会学術講演集, 120 : Pa2-37 . 2009.03
- 213 . 服部力. 生きた木にとりつくキノコ - 長伐期施業と腐朽病害 - . 森林総合研究所関西支所研究情報, 90 : 1 . 2008.11
- 214 . Masahiro SUEYOSHI (末吉昌宏), Hideaki GOTO (後藤秀章), Hiroki SATO (佐藤大樹), Tsutomu HATTORI (服部力), Nobuhiko KOTAKA (小高信彦) and Kazuhiko SAITO (齋藤和彦). Clusiidae (Diptera) from log emergence traps in the Yambaru, a subtropical forest of Japan . Entomological Science, 12(1) : 98-106 . 2009.03

215. 衣浦晴生, 高畑義啓, 宮下俊一郎. カシノナガキクイムシから分離された菌類. 日本森林学会大会学術講演集, 120: H06. 2009.03
216. 衣浦晴生, 高畑義啓, 宮下俊一郎. カシノナガキクイムシから分離された菌類. 林業と薬剤, 185: 1-6. 2008.09
217. 衣浦晴生. カシノナガキクイムシ. 農業日誌, 21: 314. 2008.09
218. 衣浦晴生. ナラ類集団枯死に新たな防除法 - おとり木トラップ法によるカシノナガキクイムシ大量捕獲 - . 森林総合研究所環境報告書, 2008: 15. 2008.09
219. 衣浦晴生, 所雅彦, 岡田充弘 (長野県林業総合センター), 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 市原優. 2種類樹木成分のカシノナガキクイムシ合成フェロモン剤に及ぼす協力効果の検討. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 69. 2008.10
220. 衣浦晴生. 拡大を続けるナラ枯れとカシノナガキクイムシ. 山林, 1495: 50-53. 2008.12
221. Haruo Kinuura (衣浦晴生), Masahiko Tokoro (所雅彦), Shoichi Saito (斉藤正一) (山形県森林研究研修センター), Mitsuhiro Okada (岡田充弘) (長野県林業総合センター), Masahide Kobayashi (小林正秀) (京都府立大学), and Masaaki Ino (猪野正明) (サンケイ化学(株)). Control of Japanese Oak Wilt Using Aggregation Pheromone of *Platypus quercivorus* (Coleoptera: Platypodidae). *Chemical Ecology of Wood-boring Insects* (FFPRI, Tsukuba, Japan): 40-51. 2009.03
222. 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 市原優, 衣浦晴生, 猪野正明 (サンケイ化学(株)). 集合フェロモン剤および共力剤の併用によるカシノナガキクイムシの誘引. 東北森林科学会誌, 13(2): 1-4. 2008.11
223. 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 中村人史 (山形県森林研究研修センター), 衣浦晴生, 岡田充弘 (長野県林業総合センター). 集合フェロモン剤を用いたナラ類の生立木によるカシノナガキクイムシ誘殺の試み. 東北森林科学会大会講演要旨集, 13: 19. 2008.08
224. 岡田充弘 (長野県林業総合センター), 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 衣浦晴生, 野崎愛 (京都府林業試験場), 山内仁人, 小山泰弘, 近藤道治 (長野県林業総合センター), 小林正秀 (京都府立大学). カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害対策の検討. 樹木医学研究, 12(3), 129-130. 2008.07
225. 川島大次 (岩間造園(株)), 衣浦晴生, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター). 樹幹注入等を用いたナラ枯れ被害防除の実施例. 樹木医学会大会講演要旨, 13: 40. 2008.11
226. 所雅彦, 市原優, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 岡田充弘, 小山泰弘 (長野県林業総合センター), 衣浦晴生. カシノナガキクイムシ集合フェロモンの誘引効果を高めるナラ類揮発性成分の探索. 日本森林学会関東支部大会講演要旨集, 60: 37. 2008.10
227. 衣浦晴生. カシノナガキクイムシの飛翔後穿入までの生息場所. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 418. 2009.03
228. 所雅彦, 衣浦晴生, 市原優, 斉藤正一 (山形県森林研究研修センター), 岡田充弘, 小山泰弘 (長野県林業総合セ

- ンター). カシノナガキクイムシの誘引効果を高めるナラ類揮発性成分の探索. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pb2-04. 2009.03
229. 齊藤正一, 中村人史(山形県森林研究研修センター), 衣浦晴生, 所雅彦, 岡田充弘(長野県林業総合センター). ケルキボロールを装着したナラ類立木トラップによるカシノナガキクイムシの大量誘殺. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pb2-05. 2009.03
230. 衣浦晴生, 齊藤正一(山形県森林研究研修センター), 岡田充弘(長野県林業総合センター), 小林正秀(京都府立大学), 阿部豊(ヤシマ産業(株)), 所雅彦, 中島忠一. おとり木トラップによるカシノナガキクイムシの捕獲技術を開発. 平成20年度版研究成果選集, 2008: 24-25. 2008.07
231. 濱口京子, 野崎愛(京都府林業試験場), 小林正秀(京都府立大学), 衣浦晴生, 江崎功二郎(石川県林業試験場), 加藤賢隆((株)ニコンインステック), 鎌田直人(東京大学), 後藤秀章. カシノナガキクイムシの孔道内血縁構造の解析. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pb2-02. 2009.03
232. Masaaki ITO (伊藤昌明)(名古屋大学), Hisashi KAJIMURA (梶村恒)(名古屋大学), Keiko HAMAGUCHI (濱口京子), Kunio ARAYA (荒谷邦夫)(九州大学), Ferenc LAKATOS (西ハンガリー大学). Genetic structure of Japanese populations of an ambrosia beetle, *Xylosandrus germanus* (Curculionidae: Scolytinae) (日本産ハンノキクイムシの遺伝的構造について). *Entomological Science*, 11: 375-383. 2008.09
233. Motohiro Hasegawa (長谷川元洋), Shinji Sugiura (杉浦真治)(ハワイ大学), Masamichi T. Ito (伊藤雅道)(駿河台大学), Asuka Yamaki (八巻明香)(横浜国立大学), Keiko Hamaguchi (濱口京子), Toshio Kishimoto (岸本年郎)((株)野生動物保護管理事務所), Isamu Okochi(大河内勇). Community structures of soil animals on Chichijima island in Ogasawara islands in relation to the survival of land snails (小笠原父島における陸産貝類の生残と土壤動物群集構造). Abstracts of 15th International Colloquium on Soil Zoology, CD-ROM. 2008.08
234. 丸山宗利(九州大学), Florian M. Steiner, Birgit C. Schlick-Steiner (ジェームス・クック大学), 秋野順治(京都工芸繊維大学), 升屋勇人, 濱口京子, 坂本洋典((独)農業環境技術研究所). ケアリ属 *Lasius* (ハチ目: アリ科) における社会寄生・菌共生・形態の進化. 日本昆虫学会大会講演要旨集, 68: 99. 2008.09
235. 松井浩幸(大阪教育大学), 石田清(弘前大学), 濱口京子, 岡崎純子(大阪教育大学). アリ散布植物ミヤコアオイの種子分散: 植生の違いは種子分散に影響を与えるのか?. 日本生態学会大会講演要旨集, 56: 294. 2009.03
236. 後藤秀章, 臼井陽介(鹿児島県森林技術総合センター), 川口エリ子(鹿児島県森林技術総合センター), 濱口京子, 畑邦彦(鹿児島大学). カシノナガキクイムシの2つの個体群の九州における分布の現況. 日本森林学会大会学術講演集, 120: G09. 2009.03
237. 岡田充弘(長野県林業総合センター), 加賀谷悦子, 所雅彦, 山内仁人(長野県林業総合センター), 橋爪丈夫(長野県林業総合センター), 小山泰弘(長野県林業総合センター), 濱口京子, 齊藤正一(山形県森林研究研修センター), 衣浦晴生. カシノナガキクイムシの捕獲好適条件の検討. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pb2-06. 2009.03

238. 高畑義啓. 空中写真によるナラ枯れ発生林分の林相変化の把握. 日本森林学会大会学術講演集, 120: Pc1-37. 2009.03
239. 高畑義啓, 衣浦晴生, 宮下俊一郎. カシノナガキクイムシと菌類との複雑な関係. 森林総合研究所関西支所研究情報, 91: 3. 2009.02
240. 高畑義啓. ナラ枯れ、マツ皮目枝枯病、タケ・ササ類てんぐ巣病. 樹木病害デジタル図鑑(全国森林病虫獣害防除協会): . 2009.03
241. 野田巖, 豊田信行(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 坪田幸徳(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 佐渡靖紀(山口県農林総合技術センター). 私たちの地域にある竹林面積を推定する方法. 四国の森を知る: 6-7. 2008.09
242. 野田巖. 森林施業の望ましい実践のために - アメリカ合衆国南部におけるルール化の事例から - . 講演会要旨集「持続的な木材生産と地域の森林再生 - 皆伐のルールづくりに向けて - 」, 4, 森林総合研究所. 2008.10
243. 野田巖. アメリカ合衆国南部における森林施業のベストマネジメントプラクティス. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 22. 2008.10
244. 野田巖, 横田康裕, 駒木貴彰, Tosporn Vacharangkura, Woraphun Himmapan, Arunee Pusudsavang, Narin Tedsorn(タイ王室林野局). 東北タイにおける民間造林とそのチーク人工林の施業と成長 - ノンブアランブー県域での調査から - . 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 23. 2008.10
245. 横田康裕, 駒木貴彰, 野田巖, 古家直行((独)国際農林水産業研究センター), Arunee Pusudsavang, Woraphun Himmapan, Narin Tedsorn, Tosporn Vacharangkura(タイ王室林野局). 東北タイにおける小規模農家によるチーク育成林業の現状と課題. 日本森林学会関東支部大会講演要旨集, 60: . 2008.10
246. 野田巖, Tosporn Vacharangkura, Woraphun Himmapan, Arunee Pusudsavang, Narin Tedsorn(タイ王室林野局). タイ東北部の民間セクターにおけるチーク人工林管理. 森林総合研究所関西支所年報, 49: 48-49. 2008.12
247. 野田巖, 豊田信行(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 坪田幸徳(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 佐渡靖紀(愛媛県農林水産研究所林業研究センター). 資源利用に関する地域特性に基づいた竹林の類型化. 日本森林学会大会学術講演集, 120: M23. 2009.03
248. 豊田信行(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 坪田幸徳(愛媛県農林水産研究所林業研究センター), 野田巖. 愛媛県における竹林の利用実態. 日本森林学会大会学術講演集, 120: M22. 2009.03
249. Iwao Noda(野田巖), Tosporn Vacharangkura, Woraphun Himmapan, Arunee Pusudsavang, Narin Tedsorn(タイ王室林野局). Characteristics of provinces based on household conditions in the Northeast of Thailand. Workshop on Development of Techniques for Nurturing Beneficial Indigenous Tree Species and Combined Management of Agriculture and Forestry in the Northeast of Thailand, Tropical Monsoon Regions,

Mar.10,2009 at Maruay Garden Hotel, Bangkok , Organized by JIRC : . 2009.03

- 250 . Yasuhiro Yokota (横田康裕), Takaaki Komaki (駒木貴彰), Iwao Noda (野田巖), Naoyuki Furuya (古家直行) ((独) 国際農林水産業研究センター), Arunee Pusudsavang (タイ王室林野局), Woraphun Himmapan (タイ王室林野局), Narin Tedsorn (タイ王室林野局) and Tosporn Vacharangkura (タイ王室林野局). Current Condition of Teak Planter in northeast Thailand . Workshop on Development of Techniques for Nurturing Beneficial Indigenous Tree Species and Combined Management of Agriculture and Forestry in the Northeast of Thailand, Tropical Monsoon Regions , , Mar.10,2009 at Maruay Garden Hotel, Bangkok , Organized by JIR : . 2009.03
- 251 . Naoyuki Furuya (古家直行) ((独) 国際農林水産業研究センター), Iwao Noda (野田巖), Yasuhiro Yokota (横田康裕), Takaaki Komaki (駒木貴彰), Arunee Pusudsavang (タイ王室林野局) and Woraphun Himmapan (タイ王室林野局). Spatial Analysis of Distribution of Tree Plantations in Nong Bua Lam Phu, Thailand . Workshop on Development of Techniques for Nurturing Beneficial Indigenous Tree Species and Combined Management of Agriculture and Forestry in the Northeast of Thailand, Tropical Monsoon Regions , Mar.10,2009 at Maruay Garden Hotel, Bangkok , Organized by JIRC . 2009.03
- 252 . 野田巖 . 放置林問題の背景と課題 . 特別連携シンポジウム要旨集「共生環境学の展望 - フィールド科学研究と大学FD - 」(三重大学大学院生物資源学研究科) : 13-16 . 2008.02
- 253 . 齋藤和彦 . 森の記録 (3) 空中写真 . 森林総合研究所関西支所研究情報 , 90 : 4 . 2008.11
- 254 . 末吉昌宏 , 後藤秀章 , 佐藤大樹 , 小高信彦 , 齋藤和彦 . 沖縄本島北部の森林林床に設置した羽化トラップで得られたオキナワヒメハルゼミ . 森林総合研究所研究報告 , 410 : 105-107 . 2009.03
- 255 . 奥敬一 . 環境に対する行動・心理・生理 . ランドスケープ研究 , 72(1) : 47-52 . 2008.04
- 256 . 奥敬一 . 第119回日本森林学会大会から 文化景観としての森林を考える . 森林技術 , 794 : 24-25 . 2008.05
- 257 . 深町加津枝 (京都府立大学), 奥敬一 , 三好岩生 (京都府立大学). Ecological roles of networks of narrow linear habitats in a farmed landscape on the west side of Lake Biwa, Shiga, Japan . Landscape Ecology and Conservation; Proceedings of the 15th annual IALE(UK) conference, held at Murray Edwards College Cambridge , 2008 : 17-24 . 2008.09
- 258 . 岩佐匡展 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 堀内美緒 (京都大学 / 日本学術振興会特別研究員), 奥敬一 , 三好岩生 (京都府立大学). 京都府木津川市鹿背山地区における1880年代以降の土地利用の変化 . 平成20年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集 : 49 . 2008.10
- 259 . 木原一憲 (近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所), 奥敬一 . 嵐山国有林における今後の風致施業について . 平成20年度森林・林業交流研究発表会発表要旨集 : 12 . 2008.11
- 260 . 水島真 (京都府立大学), 深町加津枝 (京都府立大学), 三好岩生 (京都府立大学), 奥敬一 . 琵琶湖西岸の小河川における砂防整備に応じた植物種組成に関する研究 . 環境情報科学論文集 , 22 : 163-168 . 2008.11

261. 奥敬一. 「風致」はどこへ行ったのか - 3回の通信記事を読んで - . 森林技術, 802: 22-23. 2009.01
262. 奥敬一, 深町加津枝 (京都大学), 三好岩生 (京都府立大学), 堀内美緒 (国連大学高等研究所). 大井川中流域の茶園卓越景観における日中の来訪者による景観認識比較. ランドスケープ研究, 72(5): 657-660. 2009.03
263. 堀内美緒 (国連大学高等研究所), 深町加津枝 (京都大学), 奥敬一, 岡田加奈子 (元京都府立大学). 滋賀県西部の農村集落における昭和前期の子どもの遊びを通じた自然資源と空間の利用. ランドスケープ研究, 72(5): 673-678. 2009.03
264. 鈴木利和 (静岡県農林技術研究所茶業研究センター), 奥敬一. 大井川流域における茶園景観の特徴と評価構造. ランドスケープ研究, 72(5): 489-492. 2009.03
265. 奥敬一, 深町加津枝 (京都大学), 三好岩生 (京都府立大学), 堀内美緒 (国連大学高等研究所). 大井川中流域の文化的景観をとりまく地域社会の意識. 日本森林学会大会学術講演集, 120: J10. 2009.03
266. 堀内美緒 (国連大学高等研究所), 奥敬一, 深町加津枝 (京都大学). 森林利用の歴史と技術が作り出した森林景観の地域性. 日本森林学会大会学術講演集, 120: J09. 2009.03
267. 奥敬一. 住民とともに実施する里山林の管理. 里山に入る前に考えること - 行政およびボランティア等による整備活動のために - (森林総合研究所関西支所): 25-32. 2009.03
268. 奥敬一. 第1章日吉大社の概要第5節境内林の歴史と現状 および 第3章史跡構成要素第4節境内樹木. 国指定史跡日吉大社境内保存管理・環境保全計画書:27-32, 110-113. 2009.03
269. 田中邦宏, 野田巖. アカマツ - スギ・ヒノキ複層林の成長 - 地獄谷収穫試験地定期調査報告 - . 森林総合研究所関西支所年報, 49: 55-56. 2008.12
270. 田中邦宏, 野田巖. 多雪地帯のスギ人工林における利用間伐と間伐直後の成長について - 六万山収穫試験地調査報告 - . 森林総合研究所関西支所年報, 49: 57-58. 2008.12
271. 田中邦宏, 野田巖. システム収穫表LYCSにおける密度効果のパラメータの感度分析 - 固定試験地での間伐試験データがない場合にどう対処するか? - . 日本森林学会大会学術講演集, 120: B34. 2009.03
272. 田中邦宏. 紀州地方ヒノキ林固定試験地における林分密度と直径成長率の関係について. 日本森林学会関西支部, 日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集, 59: 18. 2008.10
273. 田中邦宏. 森の記録(1)「地獄谷択伐林収穫試験地」の紹介. 森林総合研究所関西支所研究情報, 88: 4. 2008.05
274. 田中邦宏. 森の記録(4)「継続は力なり」収穫試験地での長期成長モニタリング. 森林総合研究所関西支所研究情報, 91: 4. 2009.02
275. 田中亘. 三重県における大規模林業経営の動向と労働力調達. 林業経済研究, 55(1): 75-86. 2009.03

276. 田中亘．主業的林家の経営動向．森林応用研究，17(1)：1-8．2008.10
277. 田中亘，山本伸幸，林雅秀．林業経営統計からみた主業的林業経営の動向．日本森林学会関西支部，日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会研究発表要旨集，59：28．2008.10
278. 田中亘．林業・木材産業における外国人労働者雇用の現実性．日本森林学会大会学術講演集，120：C23．2009.03
279. 岡裕泰，林雅秀，田中亘，久保山裕史．森林所有者の主伐 - 更新意思決定と地域における長期的木材供給．日本森林学会大会学術講演集，120：H20．2009.03
280. 林雅秀，岡裕泰，田中亘，久保山裕史．森林所有者の意思決定と社会関係．日本森林学会大会学術講演集，120：C05．2009.03
281. 田中亘．森の記録（2）森林・林業・木材産業に関する統計の行方．森林総合研究所関西支所研究情報，89：4．2008.08
282. 田中亘．主業的林家の経営動向と今後の意向 - 「全国林業経営推奨行事」表彰者アンケート結果から - ．山林，1493：20-27．2008.10
283. 田中亘．ガーナにおける林業・木材産業統計情報および違法伐採対策．平成20年度違法伐採対策等のための持続可能な森林経営推進計量モデル開発事業報告書：16-34．2009.03
284. 田中亘．兵庫県における取り組みと今後の課題．平成20年度「緑の雇用担い手対策事業」の評価に関する調査（第2期緑の雇用評価調査）報告書：89-106．2009.03